自動バックアップ & シャットダウン

Ver 1.2.0.1

一目次一

1.	概要	1
2.	データの解凍	1
3.	インストール	1
4.	メイン ウインド	2
5.	メニュー	3
6.	表示設定	3
7.	バックアップ/シャットダウン時刻設定	4
7.1.		4
7.2.	警告表示	4
7.3.	通常シャットダウン	5
7.4.	PCロック状態での通常シャットダウン	5
8.	パックアップの設定	6
8.1.	バックアップ設定画面	6
8.2.	日付を付加してフォルダを丸ごとバックアップ	7
8.3.	上書きコピー(差異のあるファイル/フォルダだけバックアップ)	7
8.4.	ファイル更新日時の比較	8
8.5.	ファイル・アーカイブ属性	8
8.6.	バックアップするファイルの選別	8
8.7.	バックアップ後にコマンド実行	8
8.8.	空フォルダのバックアップ	9
9.	パックアップの実行	10
9.1.	ログファイル出力	10
9.2.	バックアップの履歴表示	11
9.3.	バックアップ履歴のクリーンアップ	11
10.	時報の通知設定	12
11.	サウンドデバイスの設定	12
12.	アンインストール	13
12.1	1. Windows10	13
12.2	2. Windows11	13
13.	設定データの記録	14
14.	ライセンスの設定	14
15.	問い合わせ先	14

1. 概要

データのバックアップやパソコンの消し忘れを防止するためのアプリケーションです。 毎日、あるいは指定した曜日の指定時刻にデータのバックアップやパソコンのシャットダウンを行います。

スリープ/休止状態、ユーザがログインしていない状態やパソコンがロック状態(再度パスワード入力待ち状態)でもシャットダウンが実行されます。 (例えば、パソコンを再起動しログインもしないまま、放置している状態でも指定時刻になるとシャットダウンします) スリープ/休止状態の場合は、電源復旧を行ってからシャットダウンを実行します。

このアプリケーションは、Windows10以降(10,11・・・)のWindows-PCで実行可能です。

2. データの解凍

「AutoShutdown.zip」を解凍すると、以下のファイルが生成されます。

ファイル名	内 容	備考
AutoShutdownJ.pdf	本書	自動ヴバックアップ&シャットダウン説明書
AsInstal Data.zip	インストール データ	インストール方法は、次章で説明します
AutoShutDownParts64.zip	手動インストール用データと	インストーラを使用しないでインストールする場合のデータ
AutoShutDownParts64.pdf	説明書	
AsProjectData.zip	プロジェクト データと	自動シャットダウン自身をビルドする為のソースプログラムとVisualStudio プロジェクトファイル
AsProjectData.pdf	説明書	

3. インストール

「オートシャットダウン」をインストールするには、「AsInstallData.zip」ファイルを解凍し、「Instal IData」内の以下のフォルダで「setup.exe」をダブルクリック(起動)して、画面の指示に従ってください。

フォルダ名	適用機種	備考
AutoShutdown 32 Setup J	32ビット Windows / 64ビット Windows	日本語 Windows ヘインストールする場合
AutoShutdown 64 Setup J	64ビット Windows	日本語 Windows ヘインストールする場合
AutoShutdown 32 Setup E	32ビット Windows / 64ビット Windows	日本語以外の Windows ヘインストールする場合
AutoShutdown 64 Setup E	64ビット Windows	日本語以外の Windows ヘインストールする場合

本アプリケーションは、サービスプログラム(AjrAs2Serv32/64.exe)としてシステムに登録し、また、スタートアップにもプログラム(AjrAs2App32/64.exe)を登録します。 ウィルスセキュリティ・プログラムによっては、インストール後に以下のような警告が表示される場合があります。

この場合は、「許可」ボタンを押してください。

●ウイルスセキュリティ - システム防御		_
新しいプログラムがユーザースタートアップフォルダに見つかりました。 新しいプログラムが共通のスタートアップフォルダに20加ざれWindows起 動時に自動的に実行するように設定されました。 とント:ご自身で設定していない場合は、「プロック」を選択してください。	^	
ファイル詳細:======	~	
常にブロックする 一ブロック	भग)

システムに登録したサービスの状態は、タスクマネージャの「サービス」タブから確認することができます。

Windows10						Windo	ows11
PXD 24-24-					×		タスク
ファイル(<u>F</u>) オプション(<u>O</u>) 表示(V						
プロセス パフォーマンス アプリの月	夏歴 スター	・トアップ ユーザー 詳細 サービス)			=	
名前	PID	説明	状態	グループ	^	C.YA	7/2-6
Audiosrv	2996	Windows Audio	実行中	LocalServi		0	×) I
AutoShutdown_Serv	11592	Auto shutdown service	実行中			8	7-#-
autotimesvc		携帯電話の時間	停止	autoTimeSvc		0.	
AxInstSV		ActiveX Installer (AxInstSV)	停止	AxInstSVGr	~	:=	詳細
◇ 簡易表示(<u>D</u>) │ 🦓 サービ	<管理ツ−ル	を開く				0	サービス

T G								
~-	タスク マネージャー	٩	検索する名前、発行元、Pl			- [) ×	
-			サービス					
-Yn	スタートアップ アプリ		名前 ^へ Appinfo	PID 7716	説明 Appl	状態 実行	グループ nets	I
33	ユーザー	1	AppReadiness AppXSvc	10556	Арр Арр	停止 実行	App wsa	
≡	言羊細		AudioEndpointBuilder	4128 4384	Win Win	実行 実行	Loca Loca	
1	サービス		AutoShutdown_Serv	11204	Auto	実行		
~ (🧠 autotimesvc		携帯	停止	auto	

4. メイン ウインド



各ボタンの機能は、以下のとおりです。

#	ボタン	機能	備考
1	ዑ	PCをシャットダウンします(SHIFT キー押下時は強制シャットダウン) CTRL キー押下時は、先にバックアップを実行します。	・「ダブルクリックで動作する」をチェックした場合は、 ダブルクリックで当該機能を実行します。
2	(Zz	PCをスリープします	・「確認メッセージを表示する」をチェックした場合は、 実行するか否か問い合わせメッセージボックスを表示します。
3	C	PCを再起動します (SHIFT キー押下時は強制再起動)	・チェック状態をロックできます。 ※1
4	OFF	2秒後に ディスプレイを消灯します。	マウスカーソルやキーボードを操作すると、再度 点灯します。
5	(Zž	チェックすると、PCが自動的にスリープしないようにします。 (機種によっては機能しない場合があります)	
6	OFF	チェックすると、ディスプレィが自動的に消灯しないようにします。 (スリープするまで、ディスプレイの点灯状態を維持します)	9月11日 1日
7		メニューを表示します。	自動シャットダウン時刻等を設定します。
8	×	ウインドを非表示にします。 再度表示するには、タスクトレイのアイコン(U)をクリックします。	全ての表示状態で有効なボタン(全て非表示の場合は除く)

※1:チェックボックス(「ダブルクリックで動作する」と、「確認メッセージを表示する」)は、チェック状態をロックすることができます。(誤クリック防止用) チェックボックスを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



「このチェックをロックする」を選択すると、メッセージボックスはグレー表示 され、チェックボックスをクリックしてもチェック状態は変更されません。

「このチェックのロック解除」を選択すると、チェックボックス・クリックで チェック状態を変更できます。

メインウインドは、時間が経過すると、あるいは、カーソル操作により以下のように表示状態が変化します。(デフォルト設定での動作)



5. メニュー

メインウインドの 📄 ボタンをクリックするとメニューが表示されます。 メニューの内容は、以下のとおりです。

#	אבא-		内容	備考	
1	シャットダウン時刻設定		シャットダウン時刻設定ウインド表示	設定ダイアログ	
2	表示設定		ウインドの再表示方法や透明状態の設定	を表示	
3	時間の設定		時級動機能の設定		
4	サウンドデバイスの設定		サウンドデバイスの選択とボリューム設定		
5	バックアップ設定		バックアップ方法やバックアップ条件の設定		
6	バックアップ実行		バックアップを実行する		
7	ログフォルダを開		ログファイルが格納されているフォルダを開きます		
8	ツールチップの表示	赤	ボタン第こカーソルを置くと、ツールチップ(説明)を表示する	ラジオボタン	
9		非表示	全てのツールチップ(説明を表示しない		
10	言語設定 / Language	日本語 / Japanese	日本語で表示する(日本語PCの場合のデフォルト)	ラジオボタン	
11		英語 / English	英語で表示する (日本語PC 以外の場合のデフォルト)		
12	クインド非表示		ウインドを非表示にする(× ボタンクリックと同じ)		
13	3 説明書表示		本書を表示する		
14	4 ライセンスの設定		ライセンス設定ウインドを表示する(ライセンス設定済の場合は非表示)		
15	バージョン表示	バージョン情報を表示します			

6. 表示設定

メニューで「表示設定」を選択すると、下図の表示設定画面が表示されます。



※1 ウインド/アイコンへのカーソル移動による再表示を行う (透明表示状態で、ウインド位置へカーソルを置くことによりウインドを通常表示する)





※8 上記(※2~※6)のカーソル操作による再表示を常に有効とする。 未チェックの場合、閉じる(※)ボタンでウインドを閉じた場合は、タスクバー内のアイコン(の)でのみ、ウインドを再表示する。

7. バックアップ/シャットダウン時刻設定

メニューで「シャットダウン時刻設定」を選択するか、あるいは、ウインド左上のアイコン(🚺)をクリックすると、以下のシャットダウン時刻設定画面が表示されます。



7.1. 音声通知

シャットダウン前に音声でシャットダウンの通知をすることができます。(PCの状態によっては、音声が出ない場合があります) 音声案内できるのは、4つのシャットダウン前の時刻(60分前, 30分前, 10分前, 3分前)です。

7.2. 警告表示

設定されたシャットダウン時刻になると、画面中央にカウントダウンが表示され、カウントがゼロになった時点でシャットダウンが開始されます。 カウントダウン表示(「警告表示時間」で設定した時間だけ表示、「警告表示時間」をゼロとした場合は表示されません)



カウントダウン中に、「 🛛 」ボタンを押すとシャットダウンは中止され、次のシャットダウン時刻が有効になります。

7.3. 通常シャットダウン

「強制シャットダウン」がチェックされていない場合は、「通常シャットダウン」となります・

「通常シャットダウン」では、ドキュメント等のデータを保存していないアプリがある場合等の不都合が生じた場合、システムから、以下のような 強制シャットダウンする かキャンセルするかかの問い合わせが表示される場合があります。

3 個のアプリを閉じて、シャットダウンします 戻って作業を保存するには、 (キャンセル) をクリックして、必要な操作を行います。
🧑 タイトルなし - ペイント このアフリがシャット・ダウンを妨じています。
(無限(更新)- 新丸 秀丸エディタの保存問い合わせ中
Džwork¥a1
強制的にシャットダウン キャンセル

この問い合わせにキャンセルを応答した場合は、5分後に次回のシャットダウン時刻がスケジュールされます。

次回のシャットダウン時刻で「強制シャットダウン」がチェックされていれば、正常にシャットダウンが実行されます。 但し、「通常シャットダウン」時刻と、次回の「強制シャットダウン」時刻は十分な間隔をとる必要があります。(電源復旧所要時間+警告表示時間+30[分]以上)

7.4. PCロック状態での通常シャットダウン

PCがロック状態(サインインしていない状態)では、「強制シャットダウン」をチェックしていない場合はシャットダウンされません。 通常、以下の場状況でPCがロック状態となります。

PCの電源ON後、そのまま放置

スリープや休止状態から復帰(スリープ復帰時にサインインする設定となっている場合)

「強制シャットダウン」を未チェック(通常のシャットダウン設定)で、PCを自動的にシャットダウンする場合は、サインインオプションを以下のように設定する必要があります。 (「しばらく操作しなかった場合に、もう一度 Windows へのサインインを求めるタイミング」の設定を「常にオフ」に設定します)



8. バックアップの設定

バックアップの設定をしておくことにより、シャットダウンする前に、自動的にバックアップを実行することができます。 バックアップを実行するには、「シャットダウン時刻設定」画面で、「シャットダウン前にバックアップを実行する」をチェックしておきます。

8.1. バックアップ設定画面

メニューで「バックアップ設定」を選択すると、以下のような画面が表示されます。

バックアップ	×
-バックアップ項目 2 3	- バックアップ内容
項目名追加/変更	· 」 項目名 DmyAjrTerm 6 / マバックアップ対象に含める
DmyAjrTerm	/ังง่วัตรวรมนุ่ง
Sample	8 D:¥work¥a1¥DmyAjrTerm
	9 🔽 テンポラリフォルダにコピーしてからバックアップする
	10 〒 バックアップ前にコマンド実行 Clean.bat 11
	バックアップ先フォルダー
4	12 s:¥work
	13 Г バックアップ後にコマンド実行 14
	(パックアップファイルの選別) 40-
	15 ⁽⁾ 対象とするワイルドカード 16 ()
	17 ○ 除外するワイルドカード 18
	除外するパス中の文字列 19
	20 Γ 空のフォルダはバックアップしない
_	
	▶ 21・フォルダ全体をパックアップ(日付を付加してフォルダを丸ごとパックアップ) □ Destination
選択項目の順番変更 🔺 👤	クロン アンジャンシー ション
\sim	23 マ バックアップを中止した場合、バックアップ先のフォルダを消去する Sample ⊂ Sample(今日の日付)
- バックアップの実行	24 □ 二重バックアップ先フォルダ 25 …]
35 () 证据为力方道目26	26 ○ 上書きコピー(差異のあるファイル/フォルダだけバックアップ)
実行 C 全てのバックアップ対象項目37	27 ミラーリング(バックアップ先にだけ存在するファイルやフォルダ(は削除する)
<u>04</u>	28 マ バックアップ・ログファイルを作成する 38 39
34 ログ フォルダを開く	30 コピー 31 貼り付け 32 クリアー 33 やり直し OK キャンセル

内灾

#	内容	
1	バックアップ項目の追加/名称変更	
2	選択されているバックアップ項目の削除	
3	すべてのバックアップ項目の削除	
4	バックアップ項目の一覧表示(選択すると、右に設定内容を表示)	
5	バックアップ項目の実行順の変更(選択項目を上下する)	
6	バックアップ項目名の表示(一覧上で選択されている項目)	
7	バックアップ実行項目とする	
8	バックアップ元フォルダ (※1)	
9	バックアップ元フォルダをテンポラリ・フォルダにコピーして使用する	
10	バックアップ前にコマンドを実行する (※2)	
11	バックアップ前のコマンドライン(.bat や.exe)を設定	
12	バックアップ先フォルダ (※1)	
13	バックアップ後にコマンドを実行する (※2)	
14	バックアップ後のコマンドライン(.bat や.exe)を設定	
15	バックアップ対象とするワイルドカードを指定する	
16	バックアップ対象とするワイルドカードを設定 (※3)	
17	バックアップから除外するワイルドカードを指定する	
18	バックアップから除外するワイルドカードを設定 (※3)	
19	バックアップから除外するパス中文字列を設定 (※3)	
20	空のフォルダはバックアップしない (※5)	

"	
21	バックアップ方法(フォルダを丸ごとバックアップ)選択
22	バックアップ中にエラーを検出したら、バックアップ先フォルダを削除
23	バックアップを中止した場合、バックアップ先フォルダを削除
24	二重バックアップを行うことを選択
25	二重バックアップ先フォルダ (※1)
26	バックアップ方法(差異のあるファイルだけをバックアップ)選択
27	バックアップ先だけにあるファイル/フォルダは削除する
28	バックアップ中のログをファイルにも出力する
29	_
30	設定内容をコピーする
31	コピーした設定内容を貼り付ける
32	設定内容をクリアーする
33	設定内容をクリアー/貼り付け前に戻す
34	ログをファイル出力したフォルダを開く
35	バックアップを実行する
36	リストで選択されているバックアップを実行
37	バックアップ対象の全バックアップを実行 (※4)
38	設定内容を保存して画面を閉じる
39	設定内容を破棄して、画面を閉じる
40	ワイルドカード編集画面を開く

※1:エクスプローラからドロップ、あるいは、右の「…」ボタンでも設定可

ドライブ指定('a'~ 'z')の代わりに当該ドライブのボリュームラベル名を指定することにより、ドライブが変わっても、当該ボリュームへアクセスすることができます。

ドライブ指定('a'~ 'z')の代わりにボリュームラベル名を 'くと '> で囲んで、「 < VolumeLaber>:¥SubFolder 」のように指定します。

例えば、USBメモリドライブGのラベル名が「USB-32G」場合、「G:¥Work」は「<USB-32G>:¥Work」と指定できます。

※2:実行ファイル名は、バックアップフォルダからの相対パスで指定します。カレントディレクトリは実行ファイルの存在するフォルダとなります。

※3;複数指定時は、セミコロン(:)で区切る、各項目前後の空白は無視する

※4:バックアップ対象に含める(5)が設定されている項目のみ実行

※5:空のフォルダとは、サブフォルダ群に至るまで、ファイルが1つも無いか、バックアップから除外するファイルだけが存在するフォルダを意味する

8.2. 日付を付加してフォルダを丸ごとバックアップ

フォルダ名の末尾に日付「"(yyyy-mm-dd)"」を付加しバックアップ先フォルダ下にコピーします。 すでに同名のバックアップ済みフォルダがある場合(つまり、同じ日に複数のバックアップを行った場合)は、さらに末尾に 'A'~'Z' 加えて 「"(yyyy-mm-dd?)"」(? は A ~ Z)を付加します。

バックアップ元フォルダと、バックアップ先フォルダ下の最新バックアップ済みフォルダと比較し、以下の手順でバックアップ要否判定します。 なお、「バックアップするファイルの選別」の(1)~(3)で示した条件のファイルだけが比較されます。

- 1) すべてのファイルのタイムスタンプを比較し、更新日時が異なるファイルがある場合は、バックアップ要と判定
- 2) すべてのファイルとディレクトリの存在を比較し、片方にだけ存在するファイル/フォルダがある場合は、バックアップ要と判定

「二重バックアップ先フォルダ」をチェックした場合は、バックアップしたフォルダを、さらに別のフォルダ下にコピーします。

(例,「二重バックアップフォルダ」指定あり)



バックアップ中にエラーを検出した場合は、バックアップを中止します。

8.3. 上書きコピー(差異のあるファイル/フォルダだけバックアップ)

バックアップ元フォルダの内容と、バックアップ先フォルダの内容が一致するように、変異部分だけをバックアップします。 バックアップ元フォルダと、バックアップ先フォルダを比較し、以下の手順でバックアップを行います。 なお、「バックアップするファイルの選別」の(1)~(3)で示した条件のファイルだけが比較されます。

- 1) すべてのファイルのタイムスタンプを比較し、更新日時が異なるファイルがある場合は、ックアップ先へコピー(上書き)します。
- 2) すべてのファイルとディレクトリの存在を比較し、バックアップ元にだけ存在するファイル/フォルダがある場合は、ックアップ先へピーします。
- 3) バックアップ先にだけ存在するファイル/フォルダがある場合は、「ミラーリング」が指定されていれば、バックアップ先から 当該ファイル/フォルダを削除します。
- (例、「ミラーリング」指定あり)



バックアップ中にエラーを検出した場合でも、バックアップは中止せずに、後続のファイルのバックアップを続行します。

8.4. ファイル更新日時の比較

バックアップは、ファイル更新日時の比較、バックアップ元やバックアップ先の片方だけに存在するファイルを検出することにより行います。 FAT システムでは、ファイルタイムスタンプ(更新日時)の解像度が2秒であることから、本アプリでは、バックアップ元あるいかバックアップ先のファイルシステムが NTFS 以外である場合は、2秒単位に切り上げて比較します。

8.5. ファイル・アーカイブ属性

バックアップによりバックアップ元ファイルのアーカイブ属性は変化しません。 また、バックアップ先のファイル属性は、バックアップ元ファイルの属性と同じになります。

8.6. バックアップするファイルの選別

バックアップする(あるいは、バックアップしない)ファイルを指定し、中間ファイル等の余分なファイルをバックアップから除外できます。 バックアップから、除外する方法は以下のとおりです。

1) バックアップするファイルのワイルドカードを指定する(複数指定可, ex.「*.cpp;*.h」)



2) バックアップしないファイルのワイルドカードを指定する(複数指定可, ex.「*. obj; *. pdb」)



3) パス名中に特定の文字列が含まれるファイルをバックアップから除外する(複数指定可, ex.「¥Debug¥; ¥Temp¥」)



4) 特定の実行ファイル(.bat や .exe)を実行し、あらかじめバックアップ不要なファイルを削除する。

「バックアップ前にコマンド実行」が選択されている場合、バックアップ前に特定の実行ファイル(bat や .exe)を実行し、あらかじめバックアップ不要な ファイルを削除することができます。

実行ファイルは、バックアップ元フォルダ内に ユーザが用意しなければなりません。(ex. Clean. bat)

バックアップフォルダ(原本)からバックアップ不要なファイルを削除するのは不都合な場合は、一旦、テンポラリフォルダに全てコピーして、 テンポラリフォルダをバックアップ元フォルダとして扱うこともできます。



8.7. バックアップ後にコマンド実行

「バックアップ後にコマンド実行」が選択されている場合、バックアップ後に特定の実行ファイル(bat や .exe)を実行することができます。 バックアップ後に、バックアップしたフォルダを、zip 書庫ファイルとして保存しておいたりすることができます。 実行ファイルは、バックアップ元フォルダ内に ユーザが用意しなければなりません。(ex. GreateZip. bat)

8.8. 空フォルダのバックアップ

空フォルダとは、当該フォルダと、そのサブフォルダ群に至るまで、1つもファイルが存在しないか、あるいは、すべてのファイルがバックアップ対象外のファイルである フォルダを意味します。

例えば、バックアップから除外するワイルドカードとして「*.tmp」が指定されている場合、以下の「Emp1」(および「Emp2」「Emp3」)フォルダはいずれも空フォルダと見なします。



以下の場合は、「Emp2」フォルダに、「*tmp」以外のファイル(x.txt)が含まれるため、「Emp3」フォルダだけが空フォルダとなります。



「空フォルダはバックアップしない」が未チェックの場合は、空フォルダもバックアップ先にコピーされます。 但し、(当然ですが)空フォルダ内の除外ファイル(*tmp)は、バックアップ先にコピーされません。



「空フォルダはバックアップしない」をチェックした場合は、空フォルダをバックアップ先にコピーしません。



さらに、「上書きコピー」で、「ミラーリング」がチェックされている場合は、バックアップ元の空フォルダは、(バックアップ先に同フォルダが存在すれば)バックアップ先か ら削除します。



9. バックアップの実行

バックアップ設定画面から「実行」ボタンを押すか、シャットダウン設定時刻に達すると、バックアップが実行されます。 バックアップ実行画面の外観は以下のとおりです。

962 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WAddInI & AdW/s64WRelesseWmt.comand.l.tlog 963 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WAddInI & AdW/s64WRelesseWmt.read.l.tlog 964 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WAddInI & AdW/s64WRelesseWmt.write.l.tlog 965 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WAddInI & AdW/s64WRelesseWrt.write.l.tlog 966 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WAddInI & AdW/s64WRelesseWrt.write.l.tlog 967 : File Copy - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWAddInI WardMI WirchW 968 : Dir. Make - OK - D:WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWadInI WorkWadINI WirchW 967 : Tile Copy - OK D: WorkWaabWDayi /Term(2024-08-08D)WProjectWSampleAddInWadInI WorkWadINI Wor	● バックアップの実行	×	
バックアップを終了しました。 	<pre>\$82 : File Copy - 0K - D:\work\aab\DwyAirTerm(2024-06-08D)\Project\SampleAddIn\AddIn1\AddIn1\AddIn4AddIn1\AddIn4A</pre>		- バックアップ状況のログ表示
	パックアップを終了しました。	L	

「バックアップ設定」画面から「実行」ボタンを押した場合は、「開始」ボタンを押すとバックアップを開始します。

この場合、「バックアップ設定」」画面で「選択された項目」が選択されている場合は、バックアップ項目一覧で選択されている項目のバックアップが実行されます。 「すべてのバックアップ対象項目」が選択されている場合は、「バックアップ対象に含める」が設定されている全バックアップ項目が実行されます。

シャットダウン設定時刻に達し、シャットダウン時刻設定画面で「シャットダウン前にバックアップを実行する」がチェックされている場合は、「開始」ボタンを押さなくても 自動的にバックアップが開始されます。

この場合は、「バックアップ対象に含める」が設定されている全バックアップ項目が実行され、バックアップが終了すると画面を閉じます。 その後、シャットダウン警告表示へ移行します。

「中止」ボタンを押すと、バックアップを中止します。(シャットダウン時刻に達している場合は、シャットダウンも中止します)

9.1. ログファイル出力

「バックアップ設定」画面で、「バックアップログファイルを作成する」がチェックされていれば、バックアップ状況のログをファイルへも出力されます。 ログファイルの出力先は、システムドライブ(通常はCドライブ)下の「C:¥Users¥〈ユーザ名/¥AppData¥Local¥AutoShutdown¥Bkup¥Log¥」です。 ログファイルの名称は、以下のとおりです。

ログファイル名	備考
<ハックアップ項目名>(yymmdd_hhmmss).logv	ex. Sample(241211_151623).logv

9.2. バックアップの履歴表示

メニューで「」バックアップ履歴表示」を選択すると、以下のようなバックアップ履歴画面が表示されます。



9.3. バックアップ履歴のクリーンアップ

メニューで「バックアップ履歴のクリーンアップ」を選択すると、すべてのバックアップ項目の履歴とログファイルを削除します。 削除する前に、確認のメッセージが表示されます。

10. 時報の通知設定

毎正時(0分0秒)前後に、時刻を通知する機能です。

メニューで「時報の設定」を選択すると、以下の時報設定画面が表示されます。





「時報の通知を行う」をチェックすると、時報の通知が可能になります。(デフォルトでは、未チェックとなっています) 「午前」「午後」の右に並ぶチェックボックスで、それぞれ何時に時報通知するかを選択します。 「時計を表示する」をチェックすると、時報の前後(3~30秒)に時計を表示します。 「時計表示テスト」ボタンを押すと、時計を表示して見ることができます。 「チャイムを鳴らす」「音声で通知する」「時報音を鳴らす」は、時報前に、通知する音声やサウンドを選択します。 「再生テスト」ボタンを押すと、通知する音声やサウンドを発生してみることができます。

PCがスリープ/休止状態の場合、時報は通知されません。

11. サウンドデバイスの設定

シャットダウン通知や、時報の通知で音声やサウンドを出力するデバイスと、ボリュームを設定することができます。 メニューで「サウンドデバイス設定」を選択すると、以下のサウンドデバイス設定画面が表示されます。



「再生デバイス」は、音声やサウンドを出力するデバイスを選択します。

「ボリューム」は、出力するボリュームを設定します。

ボリュームは、システムで設定したメインボリューム(タスクバーの「 🖤」で設定したボリューム)の 0~100% となります。

サウンドデバイスの設定は、PCをマルチユーザで使用する場合でも、一元的な設定となります。

12. アンインストール

12.1. Windows10

「オートシャットダウン」は、設定メニューの「システム」→「アプリと機能」からアンインストールしてください。 「AutoShutdown32」/「AutoShutdown64」をクリックし、「アンインストール」を選択します。



12.2. Windows11

「オートシャットダウン」は、設定メニューの「アプリ」→「インストールされているアプリ」からアンインストールしてください。 「AutoShutdown32」/「AutoShutdown64」の右の「・・・」をクリックし、「アンインストール」を選択します。



13. 設定データの記録

「オートシャットダウン」は、設定データやログファイルをシステムドライブ(通常はCドライブ)下の「0:¥Ajara¥AutoShutdown¥」フォルダ下に記録します。 場合によってはシステムドライブ・フォルダのセキュリティにより、読み書きができず、設定した時刻等の値が有効とならない場合があります。 このような場合は、「0:¥Ajara¥AutoShutdown¥」フォルダの属性を「フルコントロール」に変更してください。 設定方法については、以下のURLを参考にしてください。

http://helpx.adobe.com/jp/x-productkb/global/cpsid_83128.html

14. ライセンスの設定

このソフトウェアは14日間は無償でご使用頂けます。 14日間を超えて使用する場合は、ライセンスの設定をお願いします。 メニューで「ライセンスの設定」を選択すると、ライセンスの設定ウインドが表示されます。

l	U 自動シャットダウン - ライセンスの設定 ×	
	ライセンスキーを入力し、OKボタンを押してください。 ライセンス・キー	→ ここにライセンスキーを入力します
	ライセンスキーを取得するには、下記URLからベクターへのリンクをご利用ください。 URL: http://www.ne.jp/asahi/ajara/kojara/autoshutdown.htm	
	ОК ++>>tz//	

ここで、ベクターから入手したライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを押します。

ライセンスキーを取得する場合は、下記URLから ベクター へのリンクをご利用ください。

http://www.ne.jp/asahi/ajara/kojara/autoshutdown.htm

※ PCをマルチユーザで使用している場合は、お手数ですが、各ユーザごとにライセンスの設定を行ってください。

※ ライセンス未設定で14日間を超えて使用した場合は、「試用期限を過ぎています」という旨のメッセージが表示されます。

15. 問い合わせ先

本ソフトウェアに関するお問い合わせは、件名の先頭を「Ajara:」として、以下のメールアドレスにて受け付けます。

xxxajarakojara@kk.email.ne.jpxxx

[注] 先頭と末尾の「xxx」は削除してください。 「@」は、全角となっていますので、半角に訂正してください。

※ 不在の場合、返信が遅れる場合がございますが、ご了承ください。